

千葉市子ども・子育て支援ニーズ調査の概要とポイント

1 目的

現在の「子ども・子育て支援事業計画（第2期）」の中間見直しにあたり、市内の子育て家庭の皆様から、子ども・子育て支援のための施設やサービスの利用について現状やご希望をお聞かせいただくため、アンケートを実施した。

2 概要

(1) 実施期間

令和4年6月27日（月）～令和4年8月1日（月）

(2) 調査票の配布・回収方法

直接郵送により配布・回収

(3) 調査対象・回収率等

	未就学児向け	小学生向け
調査対象	小学校就学前の子ども（平成28年4月2日～令和4年4月1日生まれ）	小学生（6～11歳・平成22年4月2日～28年4月1日生まれ）
調査票配布数	8,530人	8,670人
回収数	3,563人	3,515人
回収率	41.77%	40.54%

※調査票は、行政区及び年齢により区分して配布

3 過去の調査実施時期

前回 平成30年度

前々回 平成25年度

3 結果のポイント

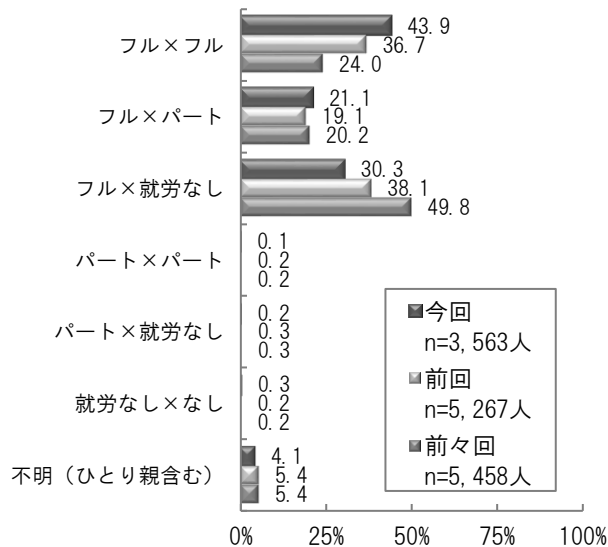
(1) 未就学児向け

① 両親の就労状況

現在の両親の就労状況による家庭類型は、「フルタイム×フルタイム」が43.9%で最も多く、次いで「フルタイム×就労なし」が30.3%、「フルタイム×パートタイム」が21.1%となっています。

前回調査と比較すると、全体で「フルタイム×フルタイム」が7.2ポイント高く、「フルタイム×就労なし」が7.8ポイント低くなっています。

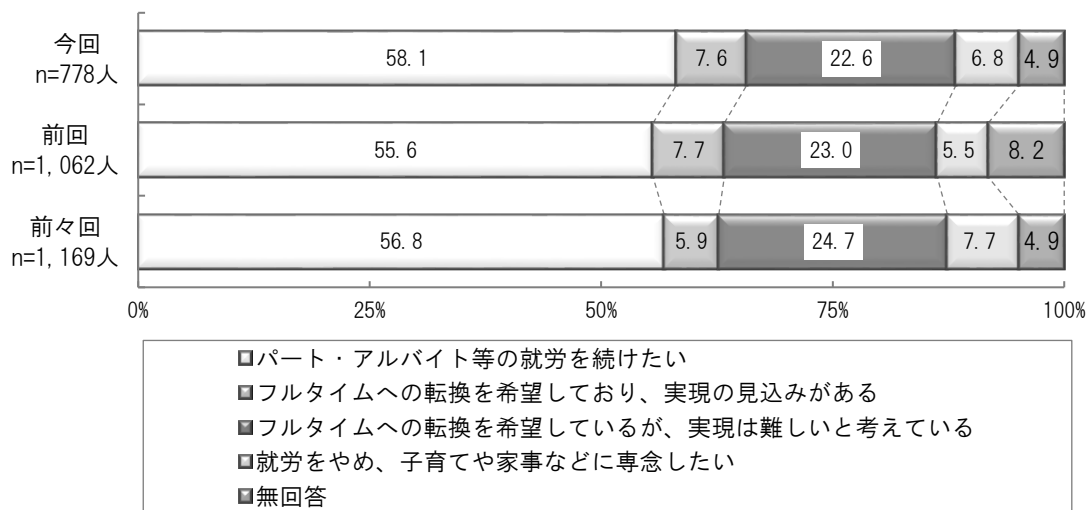
家庭類型	父親の就労状況	母親の就労状況
フル×フル	フルタイム就労	フルタイム就労
フル×パート	フルタイム就労	パート・アルバイト等
	パート・アルバイト等	フルタイム就労
フル×就労なし	フルタイム就労	就労していない
	就労していない	フルタイム就労
パート×パート	パート・アルバイト等	パート・アルバイト等
パート×就労なし	パート・アルバイト等	就労していない
	就労していない	パート・アルバイト等
就労なし×就労なし	就労していない	就労していない
不明(ひとり親含む)	上記以外(ひとり親又は、どちらかの就労状況が不明)	



② パート・アルバイト等で就労している母親の今後の就労希望

パート・アルバイト等で就労している母親の今後の就労希望は、「パート・アルバイト等の就労を続けたい」が58.1%となっています。フルタイムへの転換を希望する方が30.2% (7.6%+22.6%) いますが、実現見込みがある方は7.6%にとどまっています。

前回調査と比較すると、母親は「パート・アルバイト等の就労を続けたい」が2.5ポイント、「就労をやめ、子育てや家事などに専念したい」が1.3ポイント高くなっています。

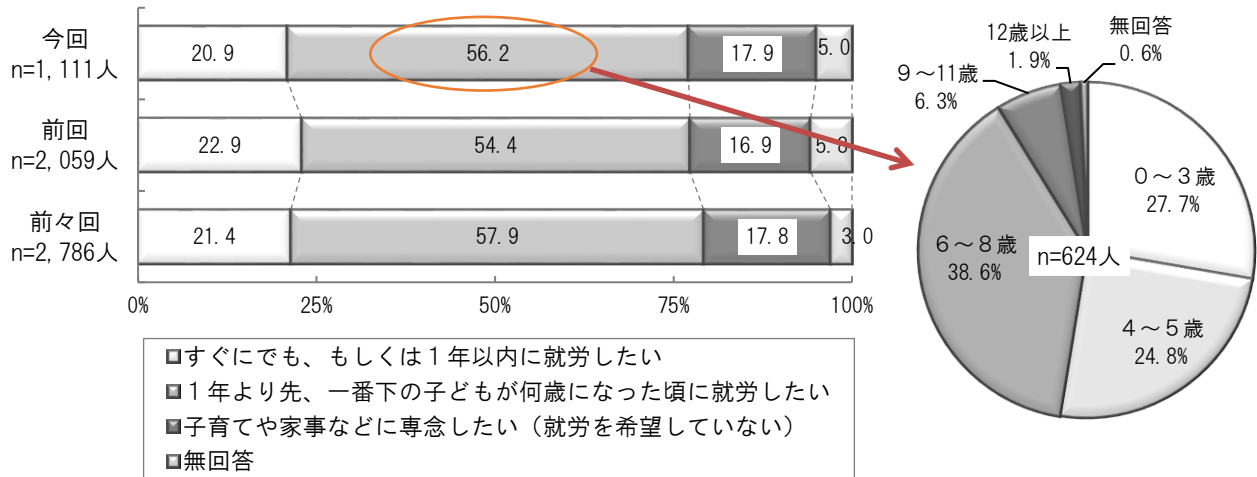


③就労していない母親の今後の就労希望

就労していない母親で、「1年より先、一番下の子どもが何歳になったところに就労したい」が56.2%、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が20.9%となっており、今後の就労希望がある方の割合は77.1%となっています。

就労希望時の一番年下の子どもの年齢は、「6～8歳」が38.6%で最も多く、次いで、「0～3歳」(27.7%)、「4～5歳」(24.8%)の順となっています。

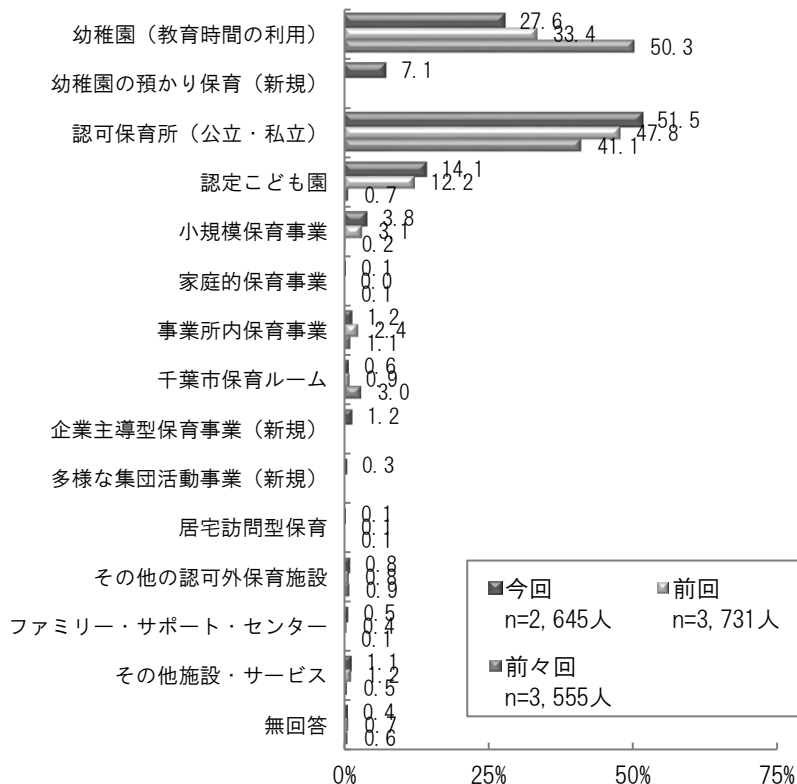
前回調査と比較すると、「1年より先、一番下の子どもが何歳になったところに就労したい」が1.8ポイント高くなっています。



④日常的に利用している幼稚園・保育施設等

日常的に利用している施設は、「認可保育所」が51.5%で最も多く、次いで「幼稚園 (教育時間の利用)」が27.6%で、合わせて約8割となっています。

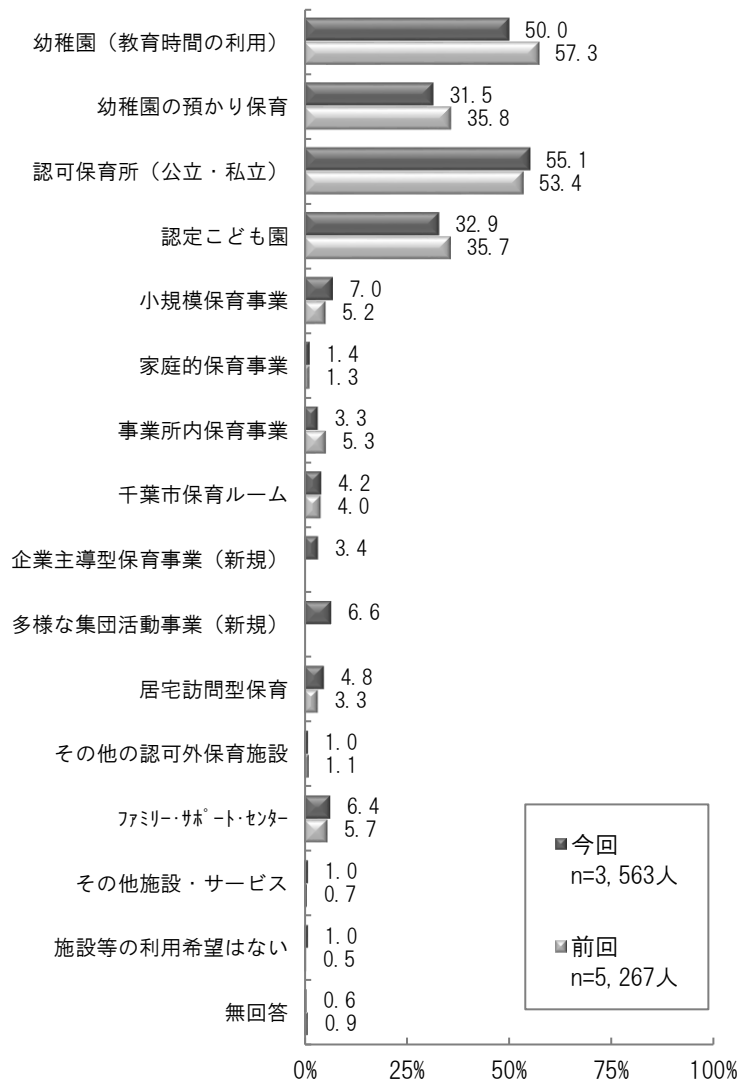
前回調査と比較すると、「幼稚園 (教育時間の利用)」が5.8ポイント低く、「認可保育所」が3.7ポイント、「認定こども園」が1.9ポイント高くなっています。



⑤ 日常的に利用させたい幼稚園・保育施設等

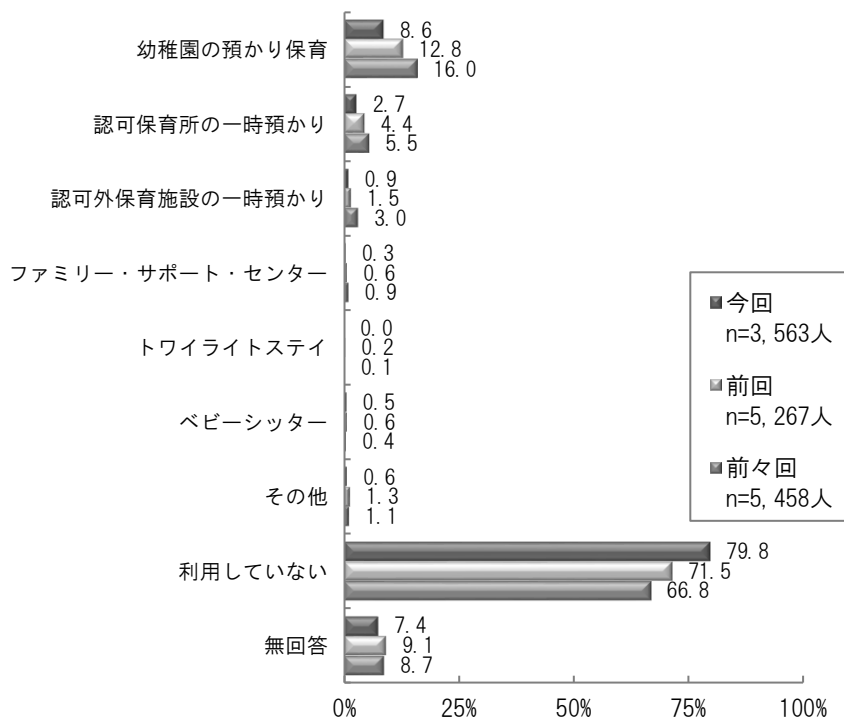
現在の利用の有無に関わらず日常的に利用させたい幼稚園・保育施設等は、全体では「認可保育所（公立・私立）」が55.1%で最も多く、次いで「幼稚園（教育時間の利用）」（50.0%）、「認定こども園」（32.9%）となっています。

前回調査と比較すると、「小規模保育事業」が1.8ポイント、「認可保育所（公立・私立）」が1.7ポイント高く、「幼稚園（教育時間の利用）」が7.3ポイント低くなっています。



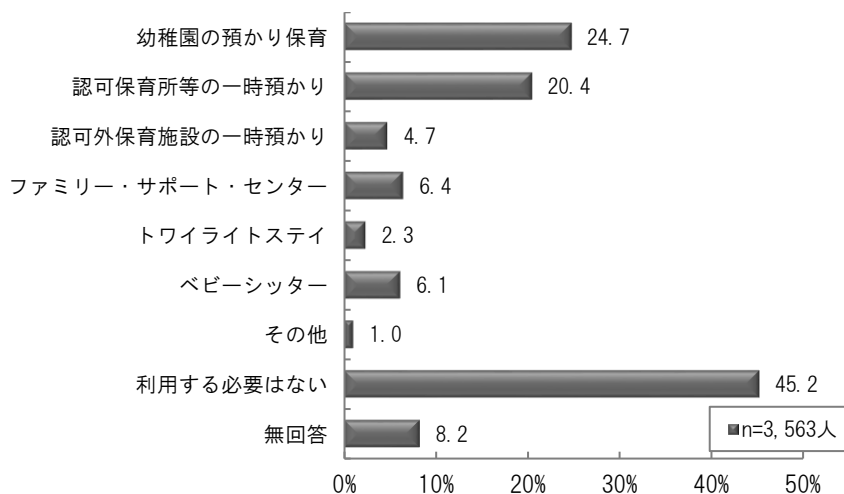
⑥不定期に利用している施設・サービス

不定期に利用している施設・サービスは、「幼稚園の預かり保育」が8.6%、「認可保育所の一時預かり」が2.7%となっています。また、「利用していない」が79.8%となっています。前回調査と比較すると、「利用していない」が8.3ポイント高くなっています。



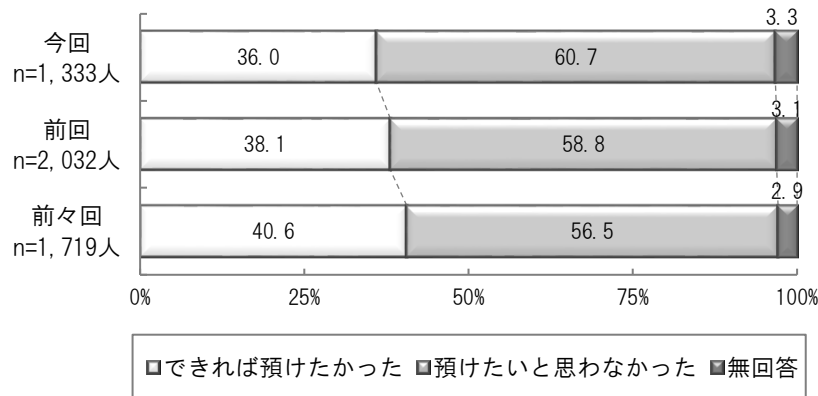
⑦不定期の施設・サービスの利用希望

現在の利用の有無に関わらず不定期に利用したい施設・サービスは、「幼稚園の預かり保育」が24.7%、「認可保育所等の一時預かり」が20.4%となっています。また、「利用する必要はない」が45.2%となっています。



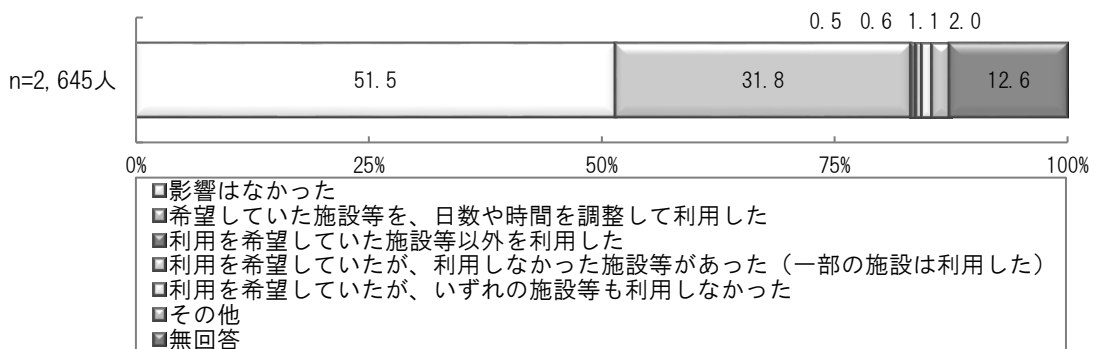
⑧病気やケガで幼稚園・保育施設等を利用できなかった場合の病児・病後児保育等の利用希望

父親・母親が仕事を休んだり、親族・知人に預けた方の、病児・病後児保育などの利用意向（「できれば預けたかった」）は36.0%となっています。
 前回調査と比較すると、「できれば預けたかった」が2.1ポイント低くなっています。



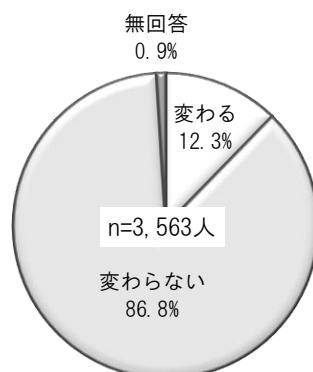
⑨現在利用している幼稚園・保育施設等における新型コロナウイルス感染症の影響

幼稚園・保育施設等利用における新型コロナウイルス感染症の「影響はなかった」と回答した割合は51.5%で半数を超えています。「希望していた施設等を、日数や時間を調整して利用した」は31.8%となっています。



⑩新型コロナウイルス感染症の流行が継続している場合、日常的に利用させたい幼稚園・保育施設等の選択は変わるか

新型コロナウイルス感染症の流行が継続している場合、選択は変わりますかという質問には、「変わらない」が86.8%となっています。



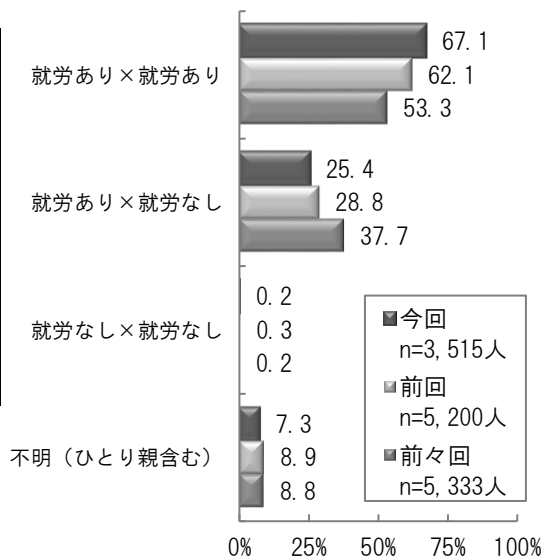
(2) 小学生向け

①両親の就労状況

現在の両親の就労状況による家族類型は、「就労あり×就労あり」が67.1%、「就労あり×就労なし」が25.4%となっています。

前回調査と比較すると、「就労あり×就労あり」が5.0ポイント高くなっています。

家族類型	父親の就労状況	母親の就労状況
就労あり×就労あり	就労している(育休・介護休業中を含む)	就労している(産休・育休・介護休業中を含む)
就労あり×就労なし	就労している(育休・介護休業中を含む)	就労していない
	就労していない	就労している(産休・育休・介護休業中を含む)
就労なし×就労なし	就労していない	就労していない
不明(ひとり親含む)	上記以外	

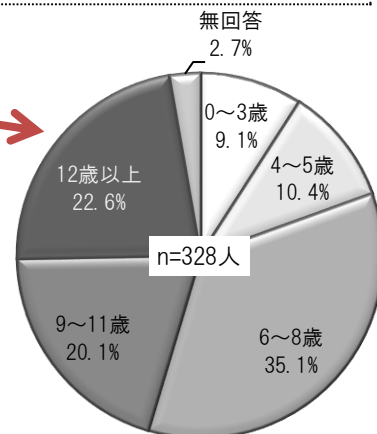
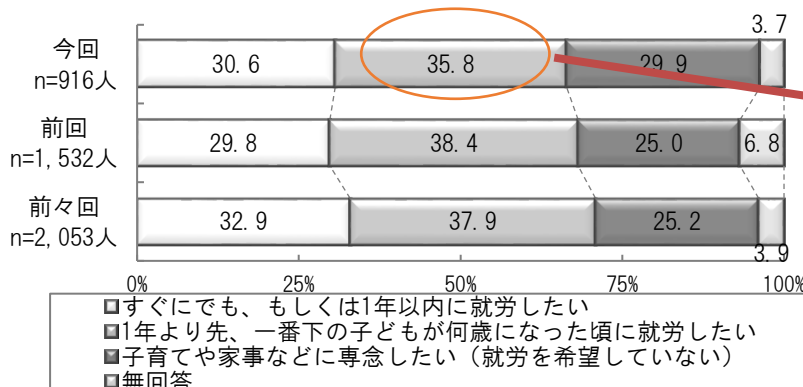


②就労していない母親の今後の就労希望

就労していない母親で、今後の就労希望がある者の割合は、「1年より先、一番下の子どもが何歳になった頃に就労したい」が35.8%、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が30.6%で合わせて66.4%となっています。

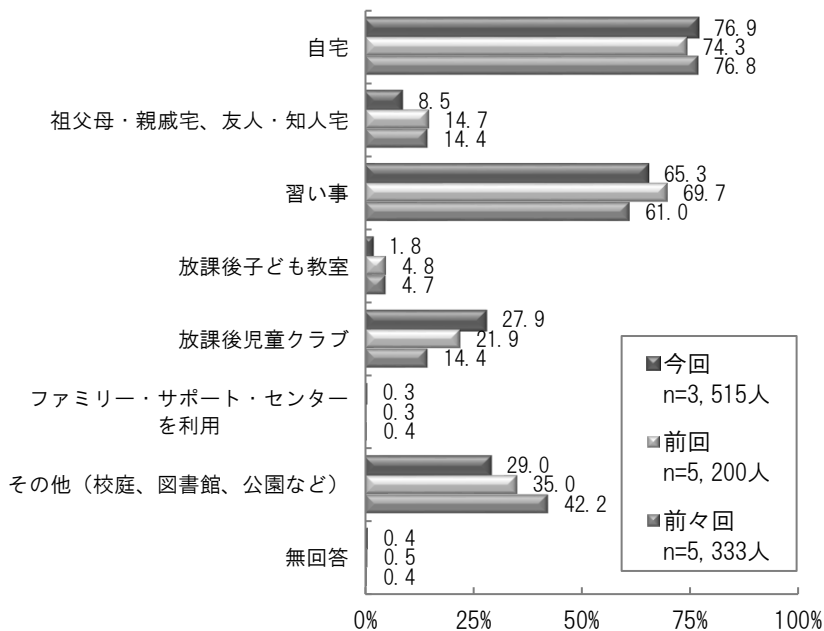
就労希望時の一番年下の子どもの年齢は、「6～8歳」が35.1%で最も多く、次いで「12歳以上」(22.6%)、「9～11歳」(20.1%)の順となっています。

前回調査と比較すると「子育てや家事などに専念したい(就労を希望していない)」が4.9ポイント高く、「1年より先、一番下の子どもが何歳になった頃に就労したい」が2.6ポイント低くなっています。



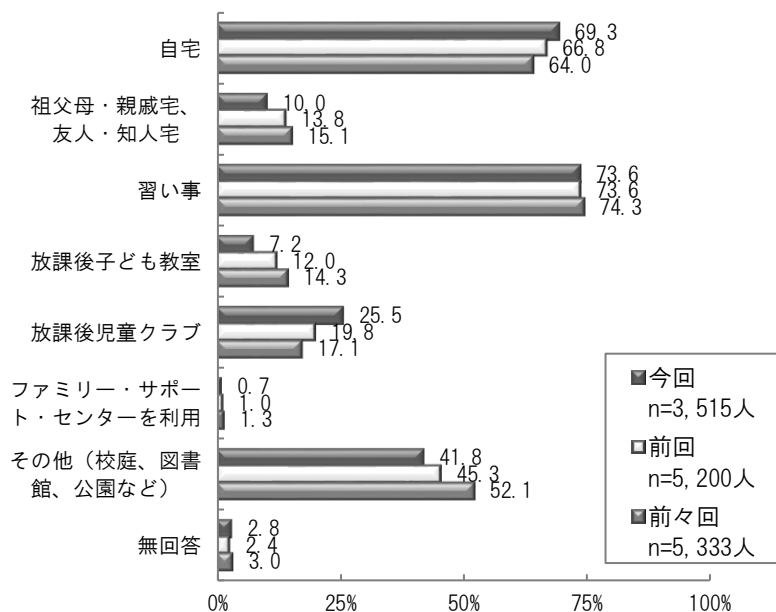
③放課後の過ごし方（平日）

放課後の過ごし方は、「自宅」が76.9%で最も多く、次いで「習い事」（65.3%）、「その他（校庭、図書館、公園など）」（29.0%）となっています。
 前回調査と比較すると、「放課後児童クラブ」が6.0ポイント、「自宅」が2.6ポイント高くなっています。



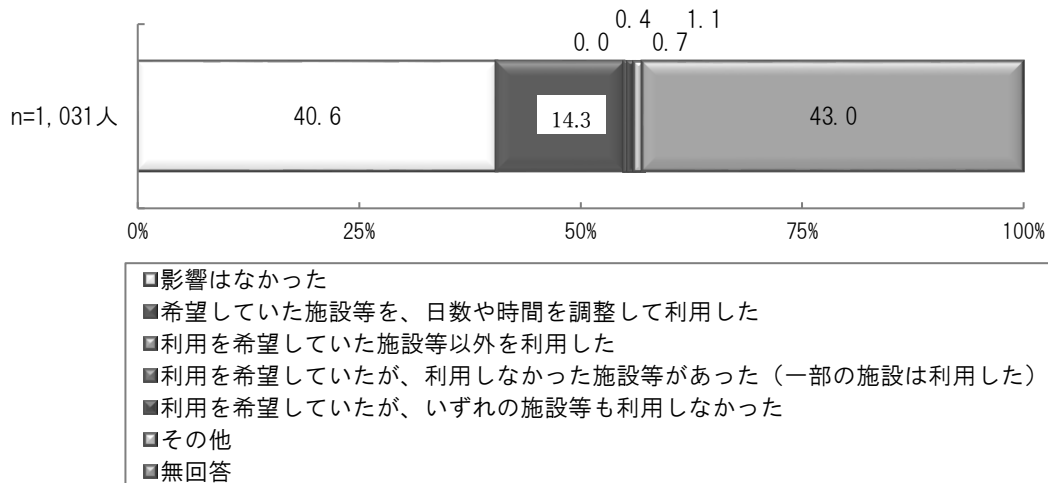
④放課後の過ごし方の希望（平日）

平日の放課後の過ごし方の希望は、「習い事」が73.6%で最も多く、次いで「自宅」（69.3%）、「その他（校庭、図書館、公園など）」（41.8%）となっています。
 前回調査と比較すると、「放課後児童クラブ」の割合が高くなっています。



⑤放課後児童クラブ等施設利用における新型コロナウイルス感染症の影響について

新型コロナウイルス感染症の「影響はなかった」と回答した割合は40.6%、「希望していた施設等を、日数や時間を調整して利用した」は14.3%となっています。



⑥新型コロナウイルス感染症の流行が継続している場合、日常的に利用させたい放課後児童クラブ等施設の選択は変わるか

新型コロナウイルス感染症の流行が継続している場合、選択が「変わらない」と回答した割合は67.8%、「変わる」は27.1%となっています。

